

2026年度秋学期

日本学生支援機構
奨学金(大学院)

定期二次採用 募集要項

◆本募集要項について

本冊子では、日本学生支援機構奨学金(大学院)の定期二次採用に関する出願方法について、ご案内します。出願資格や手続きの流れを確認し、期日までに手続きを完了してください。

なお、制度の詳細については、日本学生支援機構「貸与奨学金の案内(大学院)」を必ず確認してください。

◆個人情報の取り扱いについて

日本学生支援機構貸与奨学金の出願時に入力・提出された情報は、関西大学で定める個人情報保護方針に基づき、奨学生の選考及び奨学金業務運営のために利用します。また、個人が特定されないよう処理した個人情報を統計的な扱いに限定して利用場合があります。当該個人情報については、上記の利用目的の適正な範囲内において、日本学生支援機構、文部科学省、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供し、個人情報の漏洩や流出がないよう適切に管理いたします。

また、日本学生支援機構奨学金の貸与を受けるにあたって、個人信用情報機関への個人情報の登録に同意していただくことが義務付けられています。これは、奨学金返還開始後一定の時期における延滞者について、当該延滞者の情報を個人信用情報機関に提供することにより、延滞者への各種ローン等の過剰貸与を抑制し、多重債務化への移行の防止を目的としています。

なお、奨学金申込時に、個人信用情報の取扱いについて同意する必要があります。同意条項は、申込時に提出する「奨学金確認書兼地方税同意書」に記載されています。個人信用情報の取扱いに関する同意がない場合は、奨学金の貸与を受けることができません。

出願前に、日本学生支援機構の案内を必ずお読みください！

本冊子では、日本学生支援機構貸与奨学金への出願手続きに関する説明を掲載しています。

日本学生支援機構貸与奨学金への出願を希望する場合は、本冊子と併せて、貸与奨学金制度の詳細について以下の奨学金の案内を熟読し、貸与奨学金制度（返還あり）の内容を理解したうえで、期日までに手続きを行ってください。



日本学生支援機構
「奨学金案内ダイジェスト」



日本学生支援機構
「貸与奨学金案内(大学院)」

【上記の貸与奨学金案内が掲載された Web サイト】

URL: <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/in.html>



奨学金名称		対 象 課 程			特徴
		前期	後期	専門職	
日本学生支援機構奨学金	第一種奨学金	○	○	○	無利子貸与型
	授業料後払い制度	○	—	○	
	第二種奨学金	○	○	○	有利子貸与型

I 日本学生支援機構奨学金の概要

日本学生支援機構奨学金は、独立行政法人日本学生支援機構が行う育英奨学事業です。

教育の機会均等に寄与するため、経済的理由により修学困難な学生に学資を貸与することを目的としています。なお、大学院の奨学金は、教育・研究者、高度の専門性を要する職業人養成を目的として貸与するものです。本章では、日本学生支援機構奨学金（在学定期採用）についてご案内します。

I 出願・申込及び返還に関する注意点

以下の①・②に該当する方は出願できません。

① 外国人留学生（出願できる在留資格等は「貸与奨学金案内（大学院）」P8を参照）

② 既に第一種奨学金・第二種奨学金の併採用者となっている者

なお、国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」利用に伴う授業料納入猶予許可者は第一種奨学金に出願できません。ただし、第二種奨学金には併願可能です。

授業料後払い制度を申請・利用できるのは…

今回の在学（定期二次）採用では、2025年度以降の秋学期（9月）に入学された「前期課程」および「専門職課程」の方のみ、「授業料後払い制度」の申請対象となります。

- 2025年度と2026年度の「秋学期入学者」のみ申請可能。（春学期入学者は対象外）
- 前期課程および専門職課程の方のみ申請可能。（後期課程の方は対象外）
- 2026年度秋学期入学生は、入学手続き時に授業料の納入猶予を申請・許可された方のみ。

※授業料後払い制度利用に伴う注意点

- ・ 第一種奨学金と授業料後払い制度は併用することはできません。（第二種奨学金は併用可能）
- ・ 支援の対象となるのは、授業料の納入猶予が認められた授業料分となります。
- ・ 本制度を申し込む際の保証制度は、「機関保証（保証料が必要）」のみとなります。

➤ 貸与制奨学金の返還について

貸与制奨学金は、貸与終了後一定期間内に必ず返還しなければなりません。

本冊子で案内する日本学生支援機構奨学金は、先輩からの返還金により成り立っています。

日本学生支援機構奨学金の利用を希望する際は、貸与終了後に必ず返還しなければならないことを認識したうえで、出願するようにしてください。

2 出願資格・基準

大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること。

(1) 学力基準

下表の基準を満たしていること（法務研究科の学力基準については、お問い合わせください）

課 程	年 次	学業成績の基準
前期課程 (会計専門職を含む)	1 年次	大学の評定平均値が 2.00 以上であること
	2 年次	1 年次終了時に 20 単位以上(3 年コースは 14 単位以上)を修得し、評定平均値が 2.00 以上であること
	3 年次	2 年次終了時に 28 単位以上を修得し、評定平均値が 2.00 以上であること
後期課程	1 年次	前期課程での評定平均値が 2.00 以上であること
	2 年次	1 年次終了時に 4 単位以上を修得し、評定平均値が 2.00 以上であること
	3 年次	2 年次終了時に 8 単位以上を修得し、評定平均値が 2.00 以上であること

※日本学生支援機構第二種奨学金については、入学をもって学力基準を満たす。

評定平均値＝{(「秀・優」の数×3)+(「良」の数×2)+(「可」の数×1)}÷修得科目数

※ 卒業所要単位数に算入することができる科目について、秀・優＝3、良＝2、可＝1 とした算術平均値で小数点第 3 位以下を四捨五入したもの

(2) 家計基準

【第一種奨学金・授業料後払い制度・第二種奨学金の家計審査について】

- 収入については、マイナンバーにより取得された申込者本人及び配偶者の 2025 年分(1 月 1 日～12 月 31 日)の収入に基づく 2026 年度の住民税情報を用いて日本学生支援機構が審査します。
- 第一種奨学金・授業料後払い制度及び第二種奨学金の家計審査に用いる収入については「貸与奨学金案内」の P10 を参照してください。

〔参考：本人が給与所得者の場合における収入(年額)上限目安〕

課 程	第一種 授業料後払い制度	第二種	併採用
博士前期課程 (専門職を含む)	299 万円	536 万円	284 万円
博士後期課程	340 万円	718 万円	299 万円

※ 表中の数字はあくまで目安です。世帯構成、障がい者の有無により、目安の金額を上回っていても対象となる場合や、下回っていても対象とならない場合があります。

※ 海外居住等により、マイナンバーの交付を受けていない場合は、奨学支援グループへご相談ください。

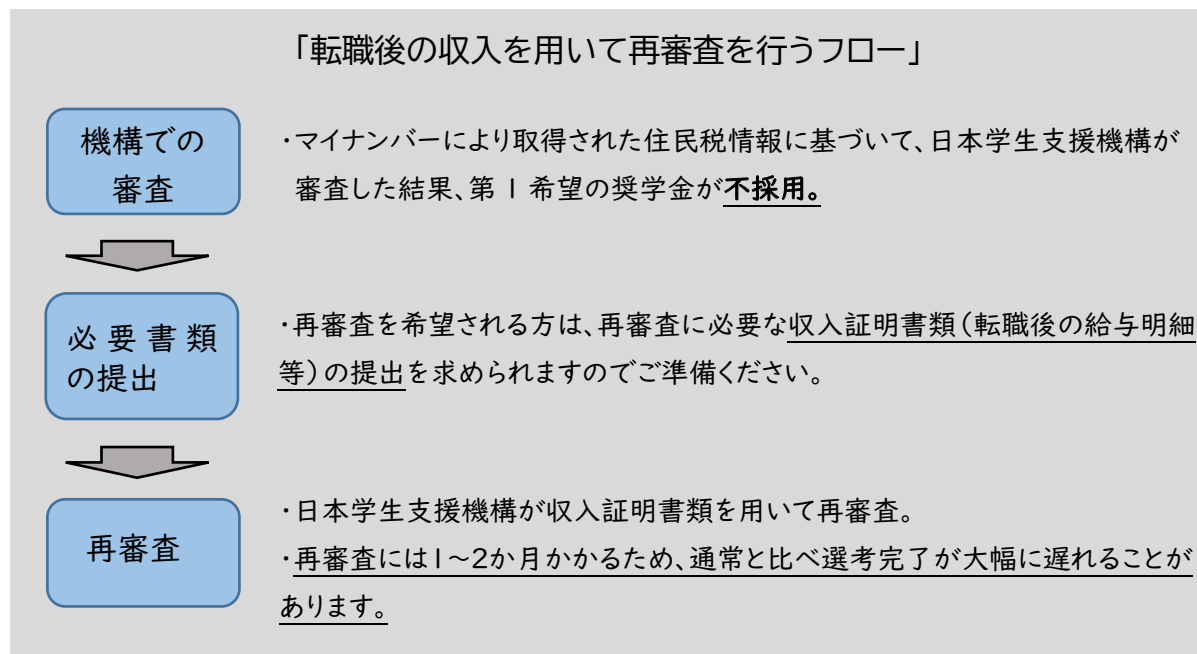
※ 申込者本人が進学に伴い離職または休職(無給休職のみ)したことにより収入が減少している場合は、申込者本人の所得を選考に算入しない特例措置があります。

なお、特例措置の認定を受けても配偶者がいる場合には、配偶者の所得の状況等により、不採用になる場合もあります。次ページを確認し、希望する場合は事前に奨学支援グループまでご相談ください。

① 転職等により減収している場合の取扱いについて

(「貸与奨学金案内(大学院)」の P29 を参照)

- 提出されたマイナンバーにより取得された住民税情報で選考した結果、第 1 希望の申し込み区分の家計基準を満たさず不採用となった場合、希望により、転職後の収入を用いて再審査を受けることができます。
- 2025 年 1 月 2 日以降にあなた又は(及び)配偶者で転職等された方が対象です。



② 進学前離職の特例措置について

(「貸与奨学金案内(大学院)」の P32 を参照)

- 目安となる家計基準を上回っている方で、申込者本人が進学のために進学前 1 年以内に離職または休職(無給の場合に限る)したことにより収入が減少している場合は、特例措置を適用し家計基準の判定を行います。
- 上記①・②での家計基準判定を希望する方は、事前に奨学支援グループへ相談してください。

3 特に優れた業績による返還免除

第一種奨学生もしくは授業料後払い制度利用者で、在学中に特に優れた業績を挙げた者に対し、奨学金の全額又は半額の返還が免除される制度があります。詳細は貸与終了年度の「返還説明会」にてお知らせします。本学では例年、免除申請対象者のうち約 3 割の方が免除認定されています。

！注意！ 2023 年度以降、後期課程において、第一種奨学生として採用された者で、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の支援を受けた方は、特に優れた業績による返還免除制度の対象外となります。

Ⅱ 出願手続き及びスケジュールについて

手続き項目	内 容												
1 奨学金制度の確認	表紙裏に記載の日本学生支援機構奨学金の「奨学金案内ダイジェスト」及び「貸与奨学金案内(大学院)」にて、制度内容や出願資格等を事前によく確認し、制度を理解したうえで出願してください。 ※ 出願の手続きについては、本紙を参考にしてください。												
2 Microsoft Forms からの事前申請	【入力期間】 9月18日(金)～10月7日(水) 以下の QR コード or URL のリンクからアクセスし、ログインしてください。 URL: https://forms.cloud.microsoft/r/pK6m5LTX2U  【2026年度秋学期大学院生対象】日本学生支援機構貸与奨学金の出願受付 ID とパスワードは、インフォメーションシステムにログインする際のものを使用してください。 (ID 例 : k000000@kansai-u.ac.jp) ※新入生の方は、Microsoft Forms にアクセスする際に必要な ID とパスワードは、新入生指導行事の際に交付されます。 ログイン後、必要事項をすべて入力してください。事前申請を送信後、登録したメールアドレスに[kansai-u.sch@ml.kandai.jp]から受付番号が送信されます。受付番号を出願書類に記載していただきますので、必ず、受信できるように設定してください。												
3 出願手続きセット (奨学支援グループの Web サイトから取得)	【出願書類の作成】 以下の URL 又は QR コードから奨学支援グループ Web サイトにアクセスし、『奨学金出願セット』をダウンロードしてください。 URL: https://www.kansai-u.ac.jp/scholarship/news/2026_132029.html 												
4 出願書類一覧	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">全員提出</td><td>① 出願チェックリスト兼受付票</td></tr> <tr> <td>② 出願内容確認用紙 (両面印刷)</td></tr> <tr> <td>奨学支援グループ Web サイトで本要項と掲載の「奨学金出願セット」をダウンロードのうえ印刷し作成してください</td></tr> <tr> <td>③【新入生で他大学出身者】前課程の成績証明書</td></tr> <tr> <td> > 【前期課程(専門職含む)】学部卒業時の証明書が必要 > 【後期課程】前期課程修了時の証明書が必要 </td></tr> <tr> <td rowspan="3">該当者のみ提出</td><td>④【外国籍の方】在留カード(コピー)など</td></tr> <tr> <td> > 日本国籍以外の方で、出願可能な在留資格を有している場合 > 「貸与奨学金案内(大学院)」の P8 を参照 </td></tr> <tr> <td>⑤【進学前離職の特例措置を希望する方】退職証明書など</td></tr> <tr> <td></td><td> > 「貸与奨学金案内(大学院)」の P32 を参照 </td></tr> </table>	全員提出	① 出願チェックリスト兼受付票	② 出願内容確認用紙 (両面印刷)	奨学支援グループ Web サイトで本要項と掲載の「奨学金出願セット」をダウンロードのうえ印刷し作成してください	③【新入生で他大学出身者】前課程の成績証明書	> 【前期課程(専門職含む)】学部卒業時の証明書が必要 > 【後期課程】前期課程修了時の証明書が必要	該当者のみ提出	④【外国籍の方】在留カード(コピー)など	> 日本国籍以外の方で、出願可能な在留資格を有している場合 > 「貸与奨学金案内(大学院)」の P8 を参照	⑤【進学前離職の特例措置を希望する方】退職証明書など		> 「貸与奨学金案内(大学院)」の P32 を参照
全員提出	① 出願チェックリスト兼受付票												
	② 出願内容確認用紙 (両面印刷)												
	奨学支援グループ Web サイトで本要項と掲載の「奨学金出願セット」をダウンロードのうえ印刷し作成してください												
	③【新入生で他大学出身者】前課程の成績証明書												
	> 【前期課程(専門職含む)】学部卒業時の証明書が必要 > 【後期課程】前期課程修了時の証明書が必要												
該当者のみ提出	④【外国籍の方】在留カード(コピー)など												
	> 日本国籍以外の方で、出願可能な在留資格を有している場合 > 「貸与奨学金案内(大学院)」の P8 を参照												
	⑤【進学前離職の特例措置を希望する方】退職証明書など												
	> 「貸与奨学金案内(大学院)」の P32 を参照												

5 出願受付 (書類提出)	【受付場所及び日時】	キャンパス	受付場所	受付日時
		千里山	凧風館 1 階 多目的会議室	10 月 7 日(水) 11:00~13:00
		高 槻	A 棟 1 階 高槻オフィス	
		高槻ミューズ	西館 2 階 ミューズオフィス	
		堺	A 棟 1 階 堺キャンパス事務室	
受付完了後、 ・「スカラネットの識別番号」 ・「スカラネット入力下書き用紙」 ・「奨学金確認書兼地方税同意書」 を交付します				
➤ 上記受付日時を過ぎた書類提出には応じられません。 ➤ 所属研究科のキャンパスにて出願してください（原則として、 他キャンパスでの受付はいたしません。やむを得ない事情がある場合 は事前に各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください）。				
6 スカラネット入力 (インターネット)	【入力期間】 10 月 7 日(水)~10 月 20 日(火)			
「貸与奨学金案内(大学院)」の P34~P37 を参照	出願書類の提出時に交付される「スカラネットの識別番号（ユーザーID・パス ワード）」を使用し、「貸与奨学金案内(大学院)」および「スカラネット入力下書 き用紙」を参考にスカラネットの入力を行ってください。			
※スカラネットとは、日本学生支援機構の奨学金申込専用ホームページのことをいいます。				
7 マイナンバー提出等 の手続き (インターネット)	【入力期間】 10 月 7 日(水)~10 月 20 日(火)			
「貸与奨学金案内(大学院)」の P38~P41 を参照	スカラネットにて奨学金の申込情報を入力後、「メインメニュー」から 「個人番号(マイナンバー)の提出等」のページへ移動し、入力してください。			
※ 奨学金申込者本人と配偶者(いる場合)の全員について手続きが必要です。 ※ 入力内容に誤りがあった場合は奨学金の選考が遅れますので、必ずすべての情報が 正しく入力されていることをご確認ください。				
8 「奨学金確認書兼 地方税同意書」の提出 (書類は出願受付時に交付)	「7 マイナンバー提出等の手続き」完了後、1 週間以内に、出願書類 提出時に交付する「奨学金確認書兼地方税同意書」を専用の封筒で 日本学生支援機構に(郵便局の窓口にて簡易書留)直接郵送してください。 ※ 提出内容に不備があった場合は、奨学金の選考が遅れる場合があります。			
9 採否通知 及び 奨学金初回振込	【採否通知】2026 年 12 月上旬を予定（個人伝言にて通知） 【初回振込】12 月 11 日(予定)※ ※指定の期日までに手続きを完了した場合でも、日本学生支援機構での選考 状況により遅れる場合があります。			
10 採用手続き説明会 ／ 返還誓約書提出	【採用手続き説明】2027 年 1 月中旬 奨学生としての心構え、今後の各種手続きに関する説明を行い、 『奨学生証』、『返還誓約書』等の重要書類を交付します。 ▼ 【返還誓約書提出】2027 年 1 月下旬 採用手続き説明会で交付した『返還誓約書』を作成し、日本学生 支援機構に提出します。			

Ⅲ 書類作成に関する注意事項

- 必ず、黒のボールペンで記入してください（消せるボールペン・鉛筆は使用不可）。
- 記入内容に不備がある場合には選考から除外する場合があります。また、内容が故意に事実と相違して記入してある場合は、採用後でも採用を取り消します。
- 修正する場合は二重線で消し、その上部余白にわかりやすく記入してください。修正液等は使用しないでください。

出願内容確認用紙の記入方法

The image shows a screenshot of a Japanese application form for a scholarship. The form is titled '奨学金申込書' (Scholarship Application Form) and is divided into several sections labeled A through E. Section A is for '奨学金申込者情報' (Scholarship Applicant Information), B is for '修了時期および修業年限' (Graduation Period and Duration of Study), C is for '奨学金制度の再貸与' (Re-lending of Scholarship System), D is for '保証制度' (Guarantee System), and E is for '所得情報' (Income Information). The form includes various checkboxes and input fields for personal and academic details.

□奨学金申込者情報

「学籍番号」、「氏名」、「生年月日」、「年齢」、「連絡先」、Microsoft Forms からの Web 申請時に取得した「受付番号」を記入してください。

また、「国籍」「課程」「配偶者の有無」について、当てはまるものに☑してください。

A 奨学金申込情報

あなたの希望する奨学金出願種別を

(1) ~ (14) の中から選択してください。

(1) (2) (4) (5) (6) (7) (8) (11) (14) を選んだ方は、「**第一種奨学金**」もしくは「**授業料後払い制度**」のいずれか一つを選択してください。

B 修了時期および修業年限

あなたの 2026 年度の予定学籍情報を記入してください。

(例：春学期入学の場合) 【2 年コース】 2028 年 3 月修了 (見込) 予定 2 年 0 カ月
(例：秋学期入学の場合) 【2 年コース】 2028 年 9 月修了 (見込) 予定 2 年 0 カ月
【3 年コース】 2029 年 9 月修了 (見込) 予定 3 年 0 カ月

C 第一種奨学金の再貸与

過去に大学院前期課程または修士課程に在籍した履歴のある方のうち、前期課程または修士課程在籍中に第一種奨学金の貸与を受けたことがある方のみ「該当する」を選択のうえ、当時の奨学生番号を記入してください。それ以外の方は「該当しない」を選択してください。

D 保証制度

「貸与奨学金案内」の P18 の「保証制度」を熟読のうえ、保証制度について選択してください。
なお、授業料後払い制度での貸与を受けるには「機関保証制度」の選択が必要となります。

E 所得情報

「貸与奨学金案内(大学院)」の P29~P33 を確認し、「転職後の減収した収入を用いて、書面による再審査」、や「進学前離職の特例措置適用」を希望する方は「希望する」を選択のうえ、必要となる書類を出願時に提出してください。

□署名欄 記入日を記入し、必ず署名（自署）してください。

印刷は必ず A4 用紙サイズに両面で印刷してください。

在学中の奨学金の利用について

本学では、本冊子で案内する奨学金以外にも、各種奨学金を設け、学生一人ひとりの学が意欲を経済面からサポートしています。詳しくは、奨学支援グループの Web サイトよりご確認ください。

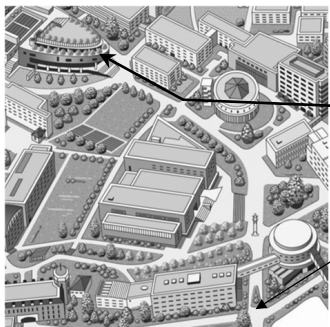
なお、奨学金の種類によって募集方法・募集時期・提出書類が異なりますので、利用を希望する際には、各種案内の確認漏れがないよう、ご注意ください。

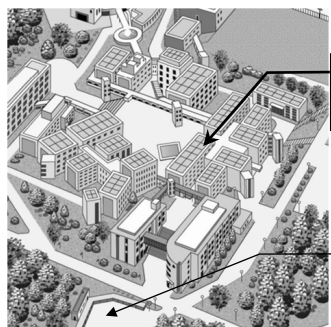
【奨学金に関する情報の案内方法】

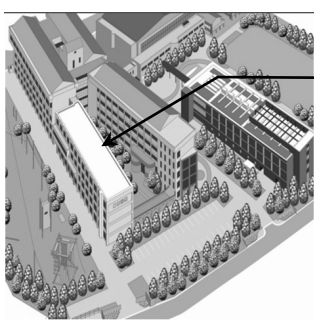
- 奨学支援グループ Web サイト
- 奨学金掲示板(各キャンパス内)
- インフォメーションシステム(お知らせ又は個人伝言)

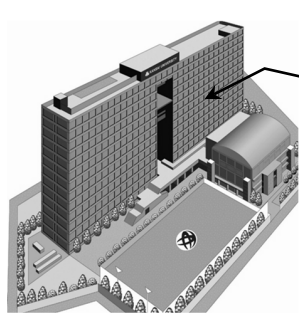


【奨学支援グループ Web サイト】

千里山キャンパス
 凧風館 1階 ・多目的会議室 ・奨学支援グループ 正門
学生センター 奨学支援グループ
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 窓口取扱時間/9:00~17:00 ※ 土日・祝日・休業期間中を除く

高槻キャンパス
 A棟(管理・研究棟)1階 高槻オフィス バス停留所(関西大学)
高槻オフィス
〒569-1095 高槻市霊仙寺町2-1-1 窓口取扱時間/9:00~17:00 ※ 土日・祝日・休業期間中を除く

堺キャンパス
 A棟 1階 堺キャンパス事務室
堺キャンパス事務室
〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1 窓口取扱時間/9:00~17:00 ※ 土日・祝日・休業期間中を除く

高槻ミューズキャンパス
 西館(大学・大学院学舎棟) 2階 ミューズオフィス
ミューズオフィス
〒569-1098 高槻市白梅町7-1 窓口取扱時間/9:00~17:00 ※ 土日・祝日・休業期間中を除く